

Q&A

鉄欠乏性貧血に対してカプセル内視鏡検査を
施行した症例

【問題】

症例：40歳代男性.

主訴：特になし.

既往歴：睡眠時無呼吸症候群，脂質異常症.

現病歴：2003年より近医にて鉄欠乏性貧血を指摘されていたが，上下部消化管内視鏡検査で原因となりうる所見は認められず，経過観察されていた。2011年3月，前医で改めて貧血を指摘され，精査加療目的に当科へ紹介となった。

入院時検査所見：WBC 3700/mm³，Hb 13.2g/dl，MCV 83.8fl，MCH 27.1pg，MCHC 32.4%，Plt 16.6×10⁴/mm³，AST 3IU/L，ALT 58IU/L，LDH

190IU/L，BUN 13mg/dl，Cre 0.86mg/dl，Na 143mEq/L，K 143mEq/L，Cl 107mEq/L，Fe 56μg/dl，TIBC 392μg/dl，UIBC 336μg/dl，Ferr 62ng/ml，CEA 1.1ng/ml，CA19-9 5.6U/ml.

カプセル内視鏡検査 (Figure 1)，経口的ダブルバルーン小腸内視鏡検査 (Figure 2)，小腸造影検査 (Figure 3) の画像を示す。

1. 診断は？
2. 治療方針は？

解答は (128p) に掲載

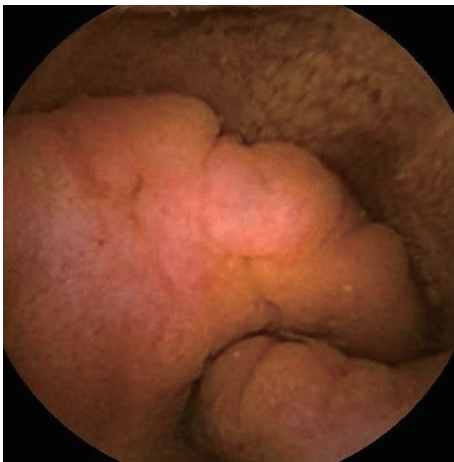


Figure 1. カプセル内視鏡検査所見.

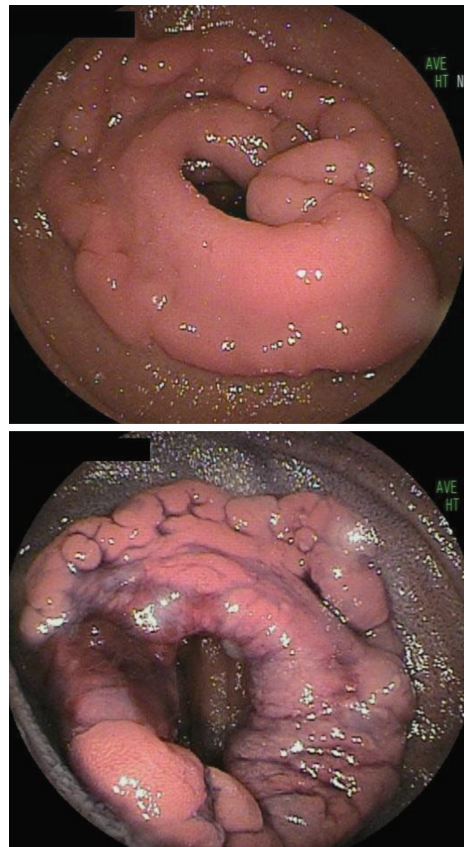


Figure 2. 経口的ダブルバルーン内視鏡検査所見.



Figure 3. 小腸造影検査所見.